

聖泉看護学研究 投稿規程

1. 趣旨

この規程は、聖泉看護学研究の発行に必要な事項を定める。

2. 発行

原則として毎年度1回発行する。

3. 投稿者の資格

原則として、聖泉大学看護学部の教員、本学看護学研究科在学生または修了生等が、第一著者あるいは共著者であること。ただし、学術誌編集委員会（以下「編集委員会」という）から依頼された原稿に関してはこの限りではない。また、編集委員長の判断により投稿を認める場合がある。

4. 論文種別

論文種別は、総説、原著、研究ノート、資料、その他とし、国内外を問わず未発表のものに限る。以下に、論文の内容とページ制限（刷り上り1ページあたり2段組22字×45行とする）を示す。

種別	内容	制限
総説	看護活動や看護教育に関する研究の総括、解説、提言等	9頁以内
原著	看護活動や看護教育に関する独創的な研究論文	
研究ノート	看護活動や看護教育に関する研究論文	
資料	研究の有用な資料として活用できる研究論文	
その他	編集委員会による企画記事、看護活動や看護教育に関する書評取り組みや報告、論文の紹介、海外の学術集会への参加報告等	5頁以内

5. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的配慮を行い、論文にもその旨を明記するものとする。投稿者所属の施設もしくは研究参加者が所属する施設の研究倫理審査委員会の承認を受け、承認番号及び承認日を記載する。

6. 投稿原稿の取扱い

1) 投稿者は、論文題目、著者名、所属機関名とともに、総説、原著、研究ノート、資料、その他の中から希望する論文種別を事前に申請した上で、あらかじめ指定された期日までに論文を投稿する。

申請は、聖泉大学ホームページ（看護学部、聖泉看護学研究）へアクセスして行う。

- 2) 編集委員会は投稿原稿を受理した後、投稿者にその旨を通知する。
- 3) 投稿された論文は、学内外の研究者が査読を行い、編集委員会での協議を経て、採否を決定する。なお、査読者は論文種別や論文題目・研究方法等により、編集委員会が選定し依頼する。
- 4) 採否の理由を付して投稿者に通知する。
- 5) 査読結果に基づき、投稿者は編集委員会に指定された期日までに必要な修正を図り、再投稿する。なお査読後、投稿者は論文種別の変更を求められることがある。
- 6) 採録と決定した場合は、その旨を投稿者に通知し、最終原稿の電子媒体の提出を求める。
- 7) 採録が決定した論文は、著者校正を1回程度行う。但し、校正時の加筆は原則として認めない。
- 8) 原稿の提出は、郵送の場合は封筒の表に「聖泉看護学研究原稿」と朱書きし、聖泉大学看護学部学術誌編集委員会宛て（〒521-1123 彦根市肥田町720番地）に書留郵送する。持ち込みの場合は、学内にある編集委員会専用メールボックスに提出する。

7. 執筆要領

投稿原稿の執筆要領は別に定める。

8. 著作権

原稿内容についての第一義的責任と権利は著者に帰属するが、原稿の編集・出版および電子情報化など二次的使用に関する権利は、編集委員会が著者から委託されたものとする。

9. 掲載料・別刷

掲載料は無料とする。但し、特殊な図表等で特別な経費を要した場合には著者負担とする場合がある。別刷は希望者のみとし、費用は著者負担とする。

2022年2月16日 改訂

2022年4月1日 施行

聖泉看護学研究 執筆要領

1. 原稿の体裁

1) 原稿作成時の注意点

執筆に際しては、原則 APA スタイルに準拠する。

2) 原稿の様式

原稿は原則として MS ワードを用い、A4 版 40 字×30 行 (1200 字) の横書きとする。フォントは、11 ポイントで和文は明朝体、英数字は Century とする。余白は、上 35mm 下左右 30mm とする。

3) 仮名づかい

新仮名づかい、ひら仮名使用とし、句読点 (.) (,) は 1 字分とする。

4) 英文

1 字分に半角 2 文字を収める。

5) 数字、記号

全て算用数字とし、カッコ (「, 『, (, [など) は、1 字分に半角 2 文字を収める。

6) 単位符号

原則として SI 単位 (kg, mg, mm, ml, kcal, °C など) を用いる。

7) 外国語

固有名詞以外の外国語は、できる限り訳語を用い、必要な部分は初出の際のみ原綴を付する。

8) 見出し

見出しは、章・節・項の順に I, 1, 1), (1) を使用し、読みやすく構成する。

9) その他

国際的な共通語を使用し、略語や符号などは一般的に認められている略語、符号等に関しては、初出時に簡単な説明を加える。

2. 原稿の制限ページ数

投稿規程に刷り上りで制限ページを示しているように、図表を含め最終的な刷り上りページ数を考慮して原稿を作成すること。

	刷り上り	原稿
1 頁あたり	2 段組 22 字×45 行 (1980 字)	1 段組 40 字×30 行 (1200 字)
総説 原著 研究ノート 資料	9 頁以内	15 頁以内
その他	5 頁以内	8 頁以内

3. 倫理

投稿規程に示したように、論文中に倫理的配慮について明記すること。

例	人を対象とする研究倫理委員会の承認 (承認番号 12345, 承認日 2019 年 4 月 21 日) を得ている。
---	--

4. 原稿の冒頭

原稿の冒頭には、題目 (和文と英文)、著者名 (和文と英文)、所属機関名 (和文と英文)、キーワード (和文と英文、各 6 語以内)、代表者の連絡先、原稿枚数、図表及び写真の枚数、希望する論文種別、別刷必要部数、編集委員会への連絡事項を記した表紙を付ける。

5. 抄録

抄録は、目的、方法、結果、考察に分けて見出しをつけて記述する (構造化抄録)。和文抄録は総説、原著、研究ノート、資料に、400 字程度のものをつける。英文抄録は、総説、原著、研究ノートに 250 words 前後のものを native check を受けた上で付ける。

6. 本文

次のように書くのが望ましい。

1) はじめに / 序論 / 緒言

研究の背景、関連する先行研究、研究を始めた動機、研究の目的を説明する。

2) 本論

研究の方法 (実験方法、分析方法等)、得られた結果、知見、先行研究との比較、考察などについて、図表を用いて説明する。

3) まとめ / 結論

得られた結論や成果を簡潔に記す。また、残された課題があれば簡単に書く。

4) 付記

学術集会等で発表し投稿内容の一部または全部が既に公表されており、それらを加筆・翻訳した形で投稿する場合については、その旨を付記し、その文献を参考文献リストに加える。科研費等の助成を受けている場合についても、その旨を付記する。

例	本論文は、聖泉 (2008) で発表した研究を発展させてその成果をまとめたものである。 本研究は JSPS 科研費 JP16K45678 の助成を受けたものである。
---	---

5) 利益相反

当該研究の遂行や論文作成において、利益相反となるような経済的支援を受けた場合には、その旨を記載する。利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

7. 謝辞

謝辞は、当該研究に対して助言や協力を受けた者を記す。

8. 補注

本文への補注を必要とする場合は、(1)(2)…の記号で該当箇所の右肩に示し、「補注」として参考文献リストの前に一括して記載すること。

9. 参考文献

1) 本文中の参考文献の引用

本文中の引用は、(著者苗字, 出版年) や (著者苗字, 出版年: 引用ページ) のかたちで表記する。共著者がいる場合、和文文献の場合は著者を「,」でつなぎ、著者が3名以上いる場合は第一著者のあとに「ら」とする。英文文献の場合は著者が2名のときは和文と同様に「,」でつなぎ、著者が3名以上の場合、第一著者のあとに「et al.」をつける。

例	単著	(山崎, 2008) (山崎, 2008: 30-35)
	2名の著者	(姉崎, 米林, 1982) (Walker, Avant, 2005)
	3名以上の著者	(宮崎ら, 1985) (Walker et al. 2005)

2) 参考文献の記述形式

論文等の最後に「文献」として著者苗字のアルファベット順で一括し、姓と名の両方を記す。欧米圏の著者名の場合は、Family Name (最初の文字だけ大文字) と First Name のイニシャル (大文字) で表す。複数の著者の場合は、ひとりずつカンマ (,) で区切り、著者が3名以上の場合、3名までの著者名を記し「○, ○, ○, 他。」もしくは「○, ○, ○, et al.」と表記する。同一著者の著作物を複数扱う場合、発表年の昇順で列挙する。雑誌名は省略せず、出版年は西暦で表記する。

種類	記述形式	例
雑誌論文	著者名. (発行年): 論文表題, 雑誌名, 巻(号), 始頁-終頁.	日本太郎, 看護花子, 研究二郎. (1998): 社会的支援が必要なハイリスク状態にある高齢入院患者の特徴, 日本看護研究学会雑誌, 2(1), 32-38.
単行本	著者名. (発行年): 論文表題, 編者名, 書名, 始頁-終頁, 出版社名, 発行地.	研究太郎. (1995): 第1章 物質の姿と成り立ち, 聖泉太郎, 看護基礎科学入門, 23-52, 研究学会出版, 大阪.
翻訳書	原著者名. (原書の出版年/翻訳書出版年). 翻訳者名 (訳), 翻訳書の書名, 始頁-終頁, 出版社名, 発行地.	Walker, L.O., & Avant, K.C. (2005/2008). 中木高夫, 川崎修一 (訳), 看護における理論構築の方法, 77-79, 医学書院, 東京.
Webページ	制作者名: タイトル, アドレス (URL).	日本社会学会 (2009): 日本社会学会ホームページ, http://www.gakkai.ne.jp/jss .

10. 図表及び写真

図表、写真などは直ちに印刷できるように別紙に作成(1ページに1つとする)し、挿入箇所を論文中に指定する。一連番号を付するとともに、必ず題を付ける。図表1枚は2000字、1/2枚程度は1000字、1/4枚程度は500字の原稿量に相当する。なお図、写真は刷り上りではモノクロ印刷となることに留意する。

11. 提出物

原稿は正(オリジナル)1部のほかに、副(コピー)2部を添付し投稿する。原稿の内容は、論文チェックシートで確認し、原稿につける。

2022年2月16日 改訂
2022年4月1日 施行

聖泉看護学研究 論文チェックシート（1回目）

投稿の際は、以下のチェックリストを用いて点検確認を行った上で、本紙を原稿に添付して提出して下さい。

1. 提出物とその内容

	正	副
<input type="checkbox"/> 部数	1部	2部
<input type="checkbox"/> 表紙	<input type="checkbox"/> 題目（和文） <input type="checkbox"/> 著者名（和文と英文） <input type="checkbox"/> 所属機関名（和文と英文） <input type="checkbox"/> キーワード（和文，6語以内） <input type="checkbox"/> 代表者連絡先（住所，Tel，メールアドレス） <input type="checkbox"/> 別刷り必要部数 <input type="checkbox"/> 編集委員会への連絡事項	<input type="checkbox"/> 題目（和文） <input type="checkbox"/> キーワード（6語以内） ※それ以外の項目は削除しておく
<input type="checkbox"/> 抄録	<input type="checkbox"/> 目的，方法，結果，考察に分けて見出しをつけて記述している（構造化抄録） <input type="checkbox"/> 和文抄録…400字程度 ※A4用紙1枚に収め，ページ番号はつけない ※論文種別「その他」については，抄録は不要。	
<input type="checkbox"/> 本文	<input type="checkbox"/> 本文は，執筆要領に示す原稿の体裁にしたがって記述している <input type="checkbox"/> 倫理的配慮について明記している（承認番号，承認日） <input type="checkbox"/> 図表の挿入位置を指定している <input type="checkbox"/> 研究助成金を受けた場合は，その旨を明記している <input type="checkbox"/> 文献は，執筆要領に示す引用の仕方や記述形式に従って記述している <input type="checkbox"/> ページ番号をつけている	<input type="checkbox"/> 付記や謝辞等から，投稿者を特定できるような事項は削除している。
<input type="checkbox"/> 図表 もしくは 写真	<input type="checkbox"/> 1ページに1つずつ作成している <input type="checkbox"/> 図1，表1，写1など一連番号とともに，題がついている ※ページ番号はつけない	

2. ページ制限

ページ数は，投稿規定，執筆要項に従っている。（原稿は図表を含め，総説，原著，研究ノート，資料 15ページ以内，その他8ページ以内である）

3. 最終確認

投稿規程，執筆要領に準じ定められた通りになっていることを最終確認した。

（西暦） 年 月 日
自署